

平成28年度文化庁日本語教育大会 パネルディスカッション

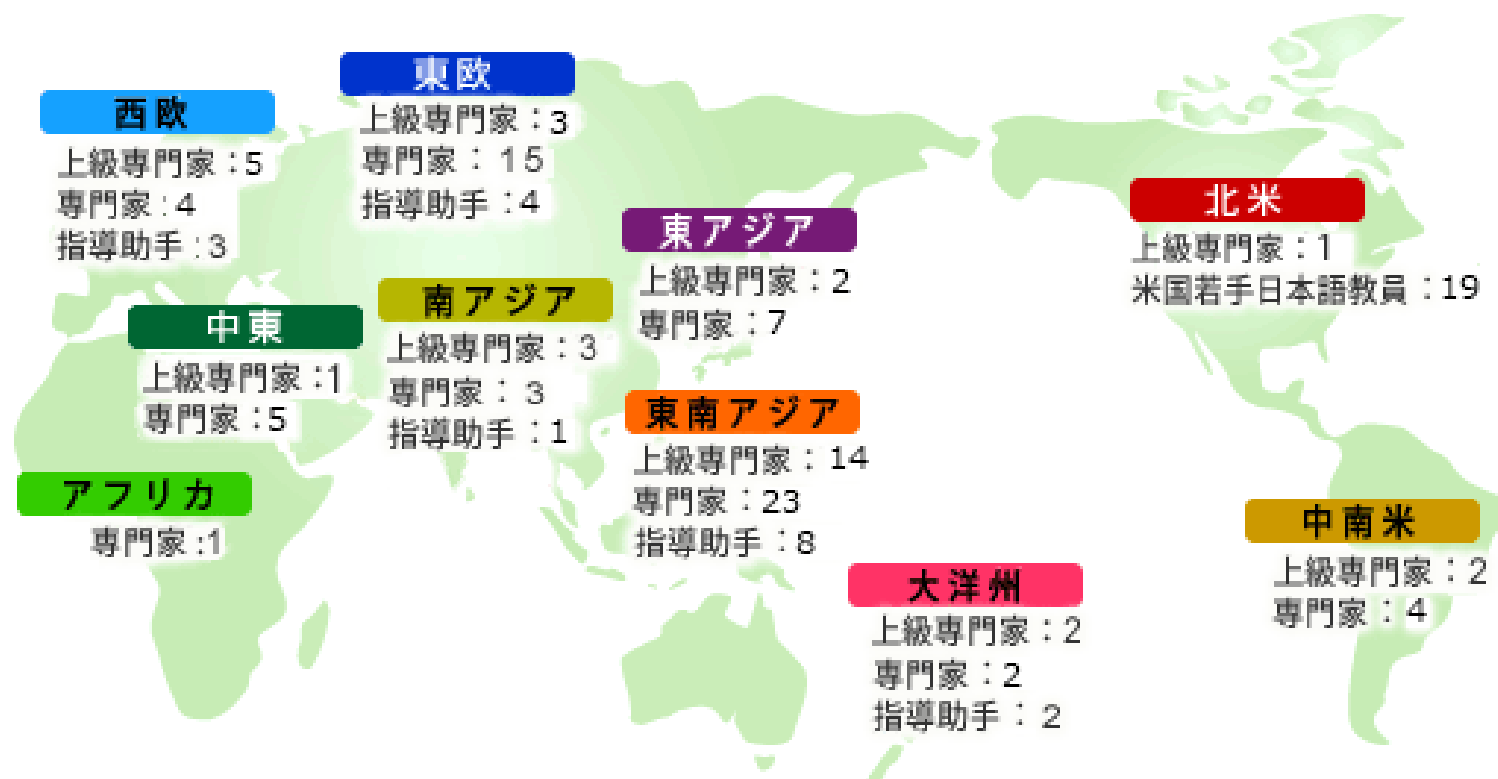
国際交流基金

- ①日本語上級専門家・日本語専門家
- ②日本語パートナーズ
業務及び求められる能力

国際交流基金日本語国際センター
専任講師主任
古川嘉子

日本語専門家の派遣

2015年度派遣数、派遣地域



日本語上級専門家 :	24か国	33ポスト
日本語専門家 :	35か国	64ポスト
日本語指導助手 :	15か国	18ポスト
米国若手日本語教員 :	1か国	19ポスト

計 41か国 134ポスト ※EPA予備教育実施のための専門家派遣除く

派遣専門家の業務

* 現地教師の育成・ネットワーク構築や日本語講座の運営、現地日本語教育機関の日本語普及活動への支援

* 日本語上級専門家

主として**アドバイザー業務**

● 基金拠点主任講師、教育省、教員養成大学派遣：

国・地域の日本語教育支援の統括 /

優先課題の対策立案・実施評価 / 優先プロジェクトの

進捗管理(プロジェクト・マネージャー) /

関係機関とのネットワーク構築・維持 /

現地教師・基金派遣講師の育成 / 日本語講座の統括 /

基金他事業への協力

* 日本語専門家

直接教授及びアドバイザー業務 ● 拠点中等教育、日本語講座、大学派遣：

配属校カウンターパート教師支援(教師育成・教材作成など) /

教師会・基金等関係者との協働による地域の中等教育支援 / 優先プロジェクトの分担

部分の推進(プロジェクト・リーダー) / 基金他事業への協力

* 具体的な活動「世界の日本語教育の現場から」参照

<http://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/teach/dispatch/voice/voice/index.html>

The screenshot shows the JAPAN FOUNDATION website. At the top, it says 'JAPAN FOUNDATION 国際交流基金'. Below that, there are navigation links: 'ホーム', '2つの交流事業', '日本語教育', '日本語を教える', '日本語専門家の海外派遣', '現場の声・レポート', and '世界の日本語教育の現場から (国際交流基金日本語専門家レポート)'. There are also social media icons for Facebook, Twitter, and Google+. The main content area features the title '世界の日本語教育の現場から (国際交流基金日本語専門家レポート)'. Below the title is a world map with various regions highlighted in different colors and labeled: '西欧', '東欧', '東アジア', '北米', '南アジア', '東南アジア', '中米', '南米', '中東・アフリカ', and '太平洋'. Below the map, there is a small text box that reads: '国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、世界各地の中核的な日本語教育機関に日本語上級専門家、日本語専門家(以下「専門家」)を派遣しております。'

求められる資質・能力

- ・地域のニーズや課題を把握し、解決法を探り、適切な方策を選ぶ、または仕事を創造し、他者と協働で問題解決する力、またはイノベーションを起こしていく力
- ・教育についての概念的な枠組み(JF日本語教育スタンダード、各地の教育理念など)を理解し、現地に合った応用を生み出す力

資質・態度

- ・他者と協働できる柔軟性
- ・問題解決にあたる積極性、創造性
- ・前向きに感情を処理する態度
- ・自身を客観的に振り返る態度

知識

- ・グローバル社会の状況に関する知識
- ・業務遂行や問題解決の方法の知識
- ・ICTを駆使する知識

マネジメントの知識・能力

能力

- ・任国の教育行政や日本語教育事情等に関する情報収集力
- ・日本語教育関連事業の企画・立案能力
- ・関係する諸機関や関係者との調整・交渉能力
- ・業務を円滑に行うための事務処理能力

日本語教育
に関する
知識・技能・
経験

日本語パートナーズ(NP)派遣事業概要

- * 2020年の東京五輪を目指して安倍政権が推進する、「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト～知り合うアジア～」の一環
- * 目的: 日本とASEAN諸国の文化交流強化
- * 日本人約3,000名をASEAN 10ヶ国の中等教育(高校)を中心とする教育機関へ派遣
- * 派遣者数実績: 2014年度100名、2015年度170名
- * 詳細はアジアセンターホームページ参照



日本語パートナーズ

<http://jfac.jp/partner/index/>



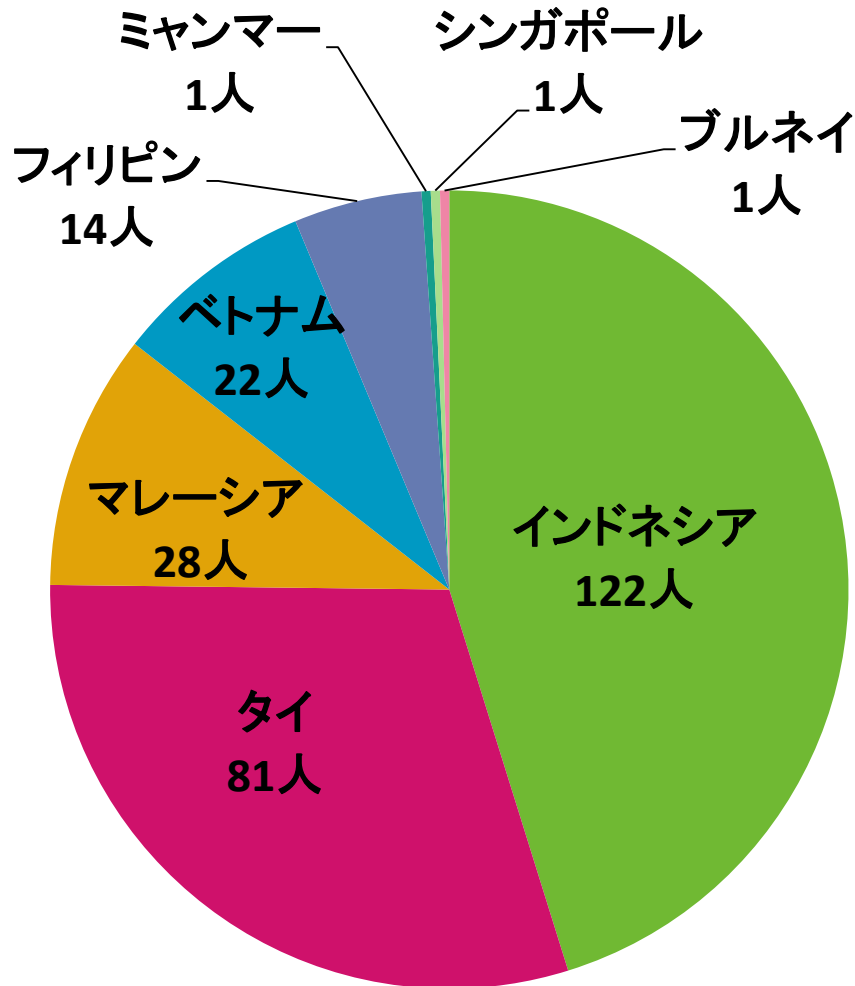
首相官邸HPより
(http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/actions/201304/19asia_bunka.html)

2013年12月14日
日本・ASEAN特別首脳会議
「文化のWAプロジェクト」発表



外務省HPより
(http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/page3_000586.html)

“日本語パートナーズ(NP)” 派遣実績(2014年度・2015年度)



(単位:人)

国名	2014年度	2015年度
インドネシア	48	74
タイ	29	52
マレーシア	8	20
ベトナム	10	12
フィリピン	5	9
ミャンマー	0	1
シンガポール	0	1
ブルネイ	0	1
計	100	170

派遣先でのNPの役割

1) 現地教師のアシスタントとして授業運営に携わる。



2) 派遣校や地域の人たちへ日本文化紹介を通じた交流を行う。



3) NP自身も現地の言葉や文化を学び、それを発信する。



saya ayae~いんどねしあのいろは~

Haloi!
Saya Ayae.

インドネシア(東ジャワ州)に2015年7月から2016年5月まで【日本語パートナーズ】として派遣☆
日本語パートナーズについてコチラ =><http://jac.jp/partner>
NP(日本語パートナーズの総称)の活動記録や、NPに合格するまでの軌跡
出発までの準備期間のあれこれを書いていきたいと思ひます。もちろん、インドネシアでの現地活動
も、主に自分の備忘録のため。
読んでいただきありがとうございます。

ayae
2016年05月02日

【お別れの時】最後の授業

4月期3週目の授業です...



ayae_E
大学時代の日本語教育実践
コース終了。
海外経験...いらい。
【趣味・特技】
筆道(約20年以上)
ピアノ(約10年以上)

NPに身につけてもらいたい能力

- 「知る」とともに「できる」を重視：
フォリナートーク、教壇体験、
異文化状況における協働、
双方向型・体験型の日本文化紹介等

採用時点では日本語教育の知識・経験は求めている。

また、日本語教師を養成する目的ではなく、時間に限りもあるので、派遣前研修では日本語文法、日本語教授法等の知識は大幅に割愛している。

しかし、授業で現地教師を補佐したり、日本文化を紹介したりするための実践的能力を養成するため、

派遣前研修ではフォリナートーク、チーム・ティーチング模擬授業、**双方向型・体験型の日本事情・日本文化紹介等のワークショップ**を行っている。

日本語上級専門家 日本語専門家

- 修士号以上の学位

2年／10年以上の日本語教授
経験(コーディネート経験)

→日本語教育の知識・技能・経験

- 資質・態度

協働、柔軟性、積極性、
創造性、前向きさ、内省

- 知識

グローバル社会、業務遂行
や問題解決の方法、ICT

- 能力

情報収集力、企画・立案能力
調整・交渉能力、事務処理能力

マネジメントの知識・能力

“日本語パートナーズ”

- 日本語教育経験不要

- 「知る」とともに「できる」を重視：
現地の生活、教育現場での
実践的能力

(フォリナートーク、教壇体験、
異文化状況における協働、
双方向型・体験型の日本文化
紹介等)

異文化適応能力